

福井市との包括連携事業

もりたエコキャンドル2016

～メインアート部門、グループ部門 W受賞

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 内山 秀樹

今年で5回目を迎える森田地区のエコキャンドル。卒業生5人も参加しているPRもりたや北部地区商工会青年部が中心となって開催されました。今年も企画段階から本番まで、生活デザイン専攻1回生、生活環境専攻2回生の学生も参加。1回生は「地域環境論」の授業の一環として、デザイン画への応募、公民館でのエコキャンドルづくり、当日のスタッフとしても参加、環境デザイン研究室の2回生は準備段階の実行委員会にも参加しました。

公民館でのキャンドルづくりは、芯づくり、やかんで温めた廃油をカップに注いだり、着火棒づくりなど、皆が初めての体験でした。

メインアートのデザインは、森田の住民でもある生活デザイン専攻1回生荒井里緒奈さんが見事最優秀賞！。タイトルは『もりたんfamily』で、まちづ

くりが進み新しい住民が増えている森田が、老若男女、新旧住民がともに夢と希望をもって仲良く楽しく住み続けられる街になってほしいという願いを込めてデザインしたとのこと。他に本学からは、生活デザイン専攻1回生の石田彩子さんと奥田有紀さんが優秀賞に入賞。また、今年から新設されたグループアート部門には6グループがエントリーし、これも生活デザイン専攻1回生Bグループの「花咲く森田」が最優秀賞を獲得しました。

7月30日(土)、晴天の会場の九頭竜川河川敷では地区の人口と同じ約1万2千個のキャンドルが、“もりたんfamily”や“花咲く森田”を浮かび上がらせ、見る人に感動を届けました。来年度もさらに感動を与えるデザインで積極的に参加したいものです。



炎天下での作業に汗！



メインアート 最優秀賞
荒井里緒奈さん



キャンドルづくりに挑戦



闇夜に浮かび上がった『もりたん family』

グループアート最優秀賞
『花咲く森田』(Bグループ)